

職場はどんな
雰囲気ですか？

JA茨城県中央会って
どんなところ？

皆さまの疑問にお答えします

どんな仕事を
しているんですか？



OFFICE GUIDE

職場案内

採用に有利な
学部・学科は
ありますか？



茨城県農業協同組合中央会 (JA茨城県中央会)
〒310-0022
茨城県水戸市梅香1丁目1番4号 茨城県JA会館3F

採用に関するお問い合わせ
総務企画部 | TEL: 029-232-2068
E-mail: kikaku-chuo@ib-ja.or.jp





TOP Message

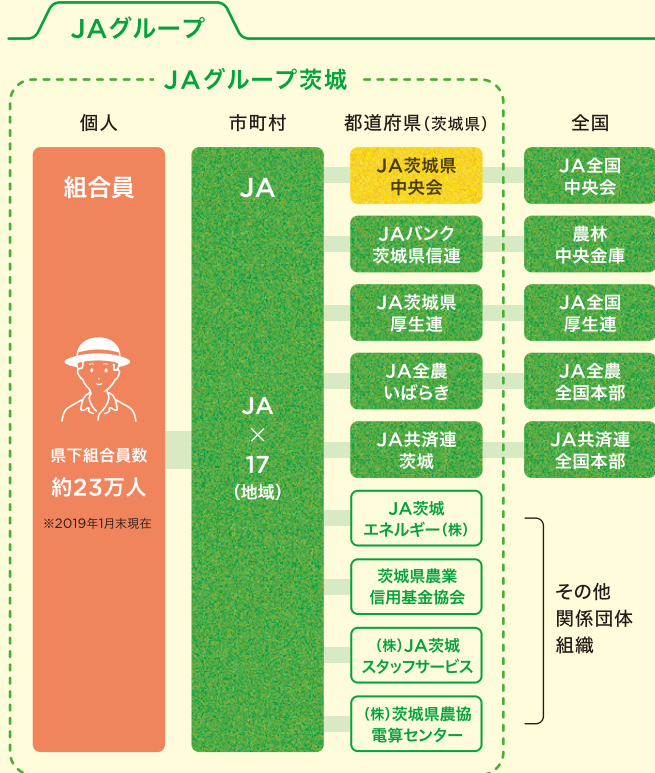
専務理事 深谷 伊知郎

JA茨城県中央会は、「農業者所得の増大」と「地域とくらしを豊かにする協同組合運動の実践」および「JA自己改革を実現するための組織・事業基盤の拡充強化」のために、茨城県内JAの健全な発展に尽力してきた歴史ある組織です。今、日本の農業は重要な転換期にあります。当会はJAグループ茨城のリーダーとして、多様な取り組みに挑戦しています。茨城の農業と地域社会の未来へ、私たちと一緒にチャレンジしてくれる仲間に出会えることを楽しみにしています！

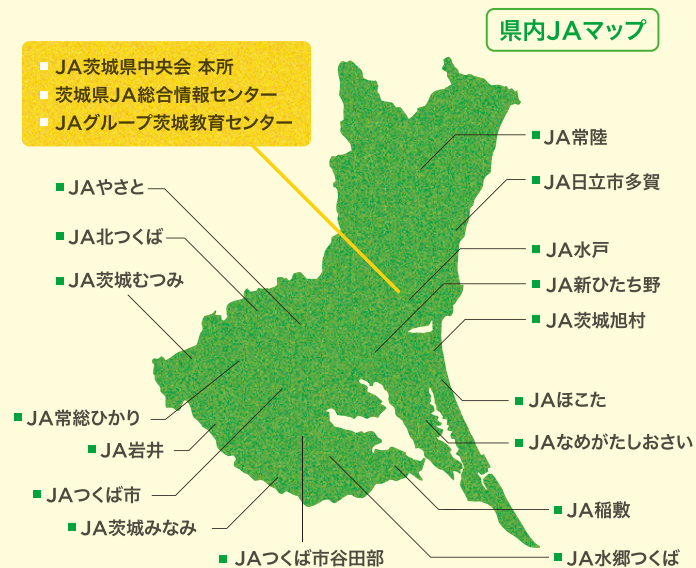
常務理事 寺山 正史

JA茨城県中央会は、県内JAグループの代表機関です。さらに、総合調整機能と経営相談機能を担っており、多様な事業を行うJAグループの意見を集約し、組織内外に向けた意思反映を行うJAグループ茨城の中核となる組織です。また、JAグループ茨城の代表として交渉力やコミュニケーション能力が求められる職場です。そこで、本会はJAグループ茨城の代表機関の職員であるための人財育成にも力を入れており、スキルアップのための様々な資格取得に向けて積極的に支援しています。将来のJAグループ茨城のリーダーとなる、向上心そして茨城への愛あふれる皆さまをお待ちしています。

JAグループについて



JAは様々な事業を総合的にしていますが、それぞれの事業を効率的・効果的に進めていくには、個々のJAの力だけでは不十分です。そこで、効率的な事業展開を図るため、信用・厚生・経済・共済などの事業ごと、および代表・総合調整機能を発揮するため、JAとJA連合会等による事業組織が形づくられ「JAグループ」として活動しています。

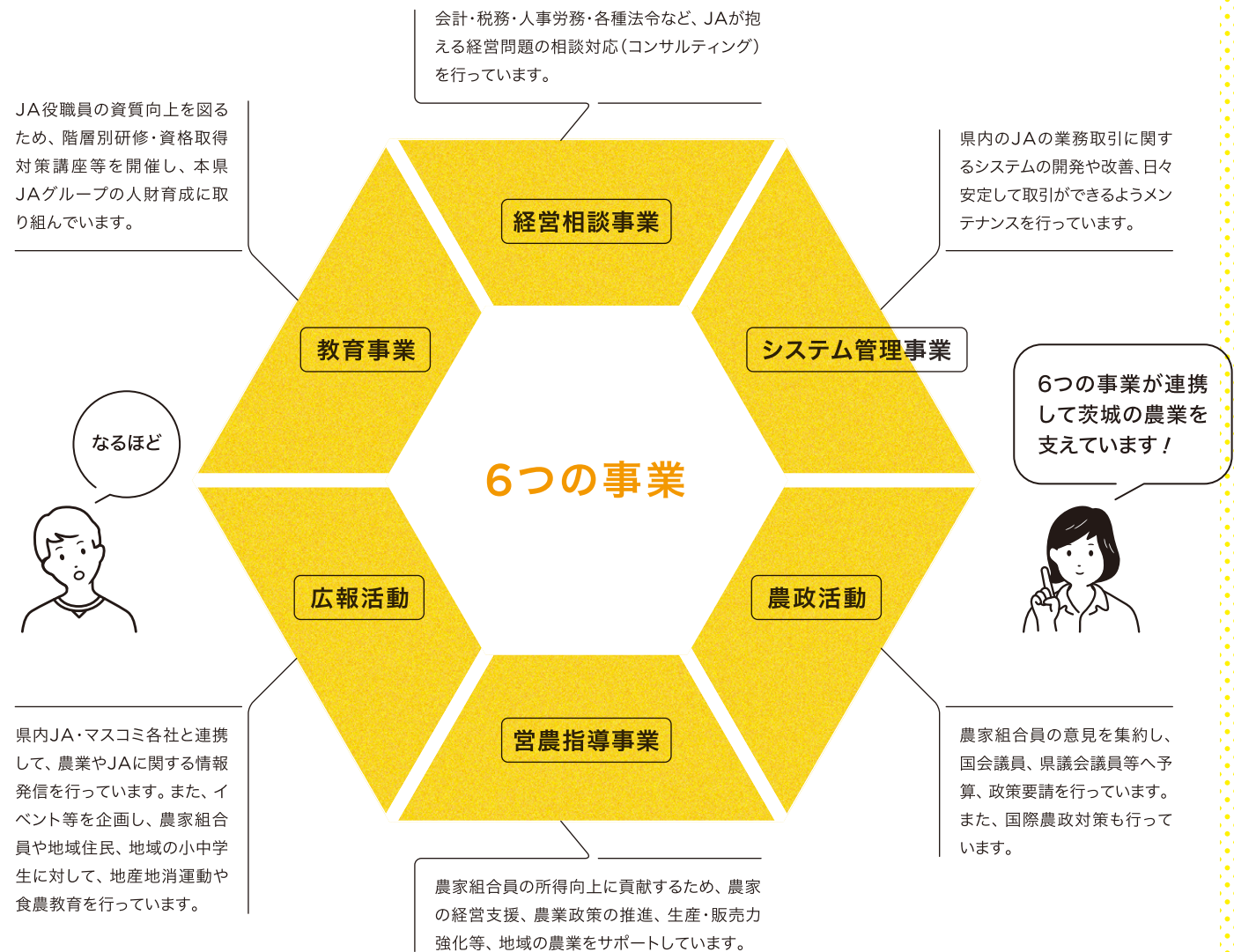
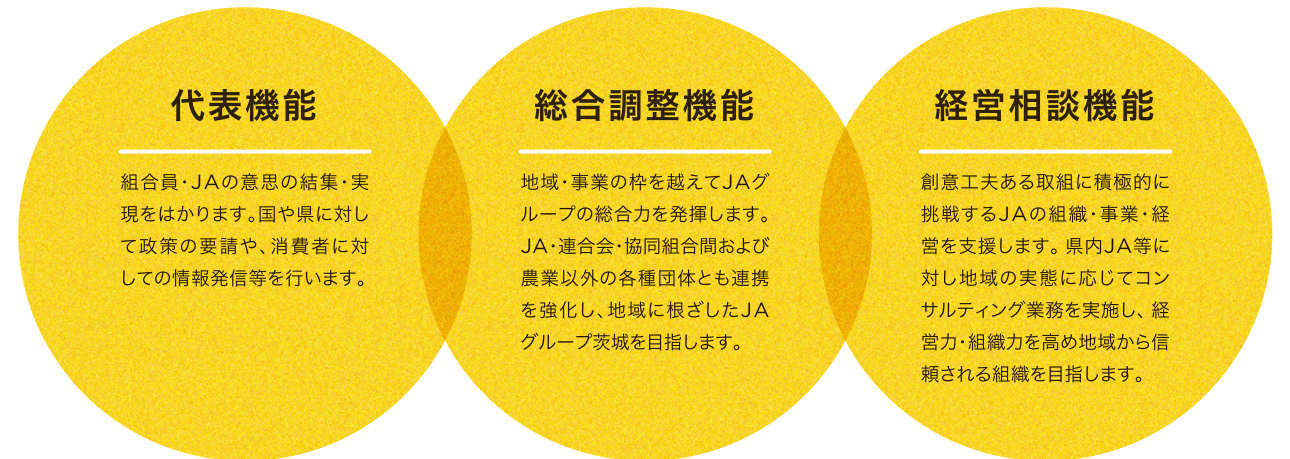


茨城県農業協同組合中央会(JA茨城県中央会)について

茨城県農業協同組合中央会(以下中央会)は、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を果たすため、JAグループ茨城の**代表機能**、**総合調整機能**、**経営相談機能**の3つの機能を誠実に果たし、**地域農業の振興と豊かな地域社会の構築**を目指します。



3つの機能



総務企画部



川崎 晶穂 (文学部卒)

担当業務 | 職員研修の管理
インターンシップの企画・運営

中央会のまとめ役

総務企画部は、中央会のまとめ役であり、陰から支える2つの面を持った部署です。会議の運営から、職員の研修等の管理まで、多岐にわたる業務を行っています。また、採用担当として学生の皆さんに中央会を知ってもらうことも、私の大切な業務の1つです。

人があたたかい職場

中央会に入会して感じたことは、人があたたかい職場だということです。1人では出来ないことも沢山ありますが、特に年齢の近い先輩方のフォローが手厚く、入会1年目の私はいつも助けてもらっています。職場全体としても職員同士のコミュニケーションが多く、雰囲気の良い環境で仕事に取り組んでいます！

Daily Schedule

8:00	出勤
9:00	打ち合わせ資料作成
10:00	
11:00	
12:00	昼食
13:00	
14:00	職場案内パンフレット作成の打ち合わせ
15:00	
16:00	職員研修の申し込み
17:00	
18:00	退勤

農政広報部



次長 佐伯 長哉

担当業務 | 農政交渉、農林水産業関係団体等との連携

茨城農業のために

茨城農業の更なる躍進を図るため、国や県の施策や予算についての情報を、一早く農家組合員やJAに伝えるとともに、JAグループの代表機能として、農家組合員やJAの意見を集約し、国や県行政等に反映できるよう国会議員や県知事、県議会議員等に働きかけています。様々な災害の影響を受けた農家が農業を辞めないよう行政へ働きかけ、結果を感じられる政策が打ち出されたときにやりがいを感じました。

学生の皆さんへ

就職活動を通じて、いろいろな業界、企業に興味をもって社会の広さを学んでください。将来進みたい道があるとしても、少しJAグループを覗いてみて下さい。その覗きが素敵な出会いかもしれませんから！

Daily Schedule

8:00	出勤 新聞各紙のチェック
9:00	部内打ち合わせ
10:00	
11:00	主要政党県連へ 農業政策の要請、情報交換
12:00	昼食
13:00	
14:00	全国都道府県農政 担当部課長会議 (WEB会議)
15:00	
16:00	
17:00	
18:00	メールチェック 退勤

共通総合室



高木 翔太 (国際食糧情報学部卒)

担当業務 | 基幹会議の開催、JAグループ
茨城職員採用の調整

JAグループのまとめ役

共通総合室はJAグループ茨城にある5つの県組織(中央会・信連・厚生連・全農いばらき・共済連茨城)の連携・調整をする部署です。私は基幹会議の開催や職員採用の調整等を担当しています。この部署に来てまだ1年も経っていませんが、県組織間の連携業務に携われる事にやりがいを感じています。

コミュニケーションの重要性

私が就職後に痛感した事は、社会でまず必要とされるのは、コミュニケーション能力であるということです。どんな仕事をするにしても会話抜きには成り立ちません。学生の皆さんには、学生時代に多くの経験を積んでコミュニケーション能力を培ってほしいと思います。就職活動、頑張ってください！

Daily Schedule

8:00	出勤 1日のスケジュールの確認
9:00	
10:00	JAグループ茨城合同の 会議の打ち合わせ・準備
11:00	
12:00	昼食
13:00	採用関係イベント (内定者交流会等)の準備
14:00	
15:00	
16:00	業務の進捗状況の 確認・整理
17:00	
18:00	退勤

農政広報部



助川 実咲 (人文学部卒)

担当業務 | 県域広報活動(統一広報)
食農教育活動

JAグループの広報担当

JAグループ茨城の統一広報を担当し、HPの管理や広報誌の編集、広告の掲載等を行っています。また、食農教育の一環として実施している「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの作品募集から審査、表彰式、展示会など一連の業務を担当しています。広報誌や広告の制作にも自分のアイディアを採用してもらえることがあり、とてもやりがいを感じています。

困っていると声をかけてくれる

中央会は、農政や営農、経営、教育など、幅広い分野から茨城農業の発展に寄与することができます。また、比較的小規模な組織ですので、みんなが顔を覚えてくれて、困っていると声をかけてくれるところが魅力だと思います。

Daily Schedule

8:00	
9:00	出勤
10:00	JAグループ茨城HPの更新
11:00	
12:00	昼食
13:00	JA茨城県連広報誌 「梅香」の校正作業
14:00	
15:00	各会広報担当者会議の 資料作成
16:00	
17:00	退勤
18:00	

TOPICS

YouTubeチャンネル開設

中央会では、就活生に向けた組織紹介や採用情報の発信を目的にYouTubeチャンネル「いばちゅうワールド」を開設しました。配信動画は入会3年目と1年目の職員を中心に制作しました。第1回目は「ユネスコの無形文化遺産に登録 協同組合ってどんな組織？」というテーマで、協同組合の構造を株式会社との違いを例に挙げつつ説明しました。今後も当会の魅力や採用情報をどんどん発信していきます！

中央会はこの企画も通ってしまふ、若手が自由にそして責任感を持って働ける職場です。ぜひ一緒に働いてみませんか？



ぜひご視聴いただき
チャンネル登録、グッドボタンを
よろしくお願いいたします！



Youtube
チャンネル
へのリンク

TOPICS

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

JAグループ茨城では食農教育活動の一環として、「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールを実施しています。このコンクールは、次の世代を担う小・中学生に、日本の豊かな食卓と国土を作り上げてきたごはん・お米、そして稲作農業を身近なものとして再認識してもらうため、JAグループが昭和51年から実施しています。県内コンクールでは約13,000点の応募があり、県内の代表作品として全国コンクールに推薦される作品は、文部科学大臣賞などの上位賞に6年連続で入賞するなど、毎年優秀な成績を収めています。学生の皆さんの中にも小中学生の時に夏休みの課題として取り組んだ方がいるのではないのでしょうか？



第44回 図画の部最優秀賞
(JA茨城県中央会会長賞) (2019年)



ほくも
覚えてる！



作品選考風景 (2019年)

改革支援部

2012年
入会内部管理態勢支援室 室長 **柴崎 弘治**担当業務 | **JAのコンプライアンス態勢の
確立や定着支援**

コンプライアンスに関する仕事

JAの内部管理態勢やコンプライアンス態勢の確立や定着を支援する業務を行っています。研修の実施や、個別の相談にも対応してJAの実情にあった内部統制整備やコンプライアンスの一層の定着をサポートしています。

職員が一丸となって取り組む

私は中途採用後8年目になります。中央会のメンバーはプロ意識が高く、業務が滞らないためのフォローや丁寧に教えてくれる体制は万全で、安心して仕事に集中することができています。チームとして仕事を行うことが多く、日々皆と相談しながら、何か問題が発生したらすぐに情報共有をして解決するという風通しが良い職場です。

Daily Schedule

8:00 出勤
9:00 メールチェック
10:00 研修会資料作成
11:00
12:00 昼食
13:00
14:00 (出張)JAからの相談対応
15:00
16:00 業務報告書作成
17:00
18:00 退勤

教育部

1990年
入会部長 **大森 祥子**担当業務 | **JA役職員研修**

JA役職員の教育を行う仕事

教育部は、県内JAの役職員の教育事業を行う部署です。当部が運営する研修施設「JAグループ茨城教育センター」では、年間約4,000人を超えるJA役職員の方々が研修を受講しています。また、JA主催の研修会への講師派遣などにも対応しています。

みんなが活躍できる職場

中央会は、正職員約50名で男性職員の多い職場(女性職員は20%)ですが、それによって業務内容や職員教育に違いはありません。各部署において職員がそれぞれの力を発揮し仕事に取り組んでいます。一方、子育て世代をサポートする制度もあり、女性も長く安心して働ける職場ですので、たくさんの皆さんの応募をお待ちしています。

Daily Schedule

8:00 出勤
9:00 教育センター来館者対応
10:00
11:00
12:00 昼食
13:00
14:00 (出張)JA研修講師
15:00
16:00 施設内巡回
17:00 退勤
18:00

改革支援部

2013年
入会経営IT戦略室 **小川 瑞穂** (人文学部卒)担当業務 | **システムの維持管理や操作研
修会の講師**

業務効率化に向けて

JA業務の効率化を目指して、これまでの業務の仕組みの見直しや、手作業だった業務のシステム化に取り組んでいます。また、JAに提供しているシステムの維持管理や操作研修会の講師も担当しています。

子育て中でも安心して勤務できる

育児短時間勤務制度を利用しているため他の職員より勤務時間は短いです。キャリアに見合った業務を担当させてもらっていると感じています。中央会は業務に必要な研修の受講や資格取得を積極的に後押ししてくれるので、入会してから様々なことを学ぶことができます。また福利厚生も充実していて、子育てをしながらでも安心して勤務することができます。

Daily Schedule

8:00
9:00 出勤
10:00 システム操作研修会
11:00
12:00 昼食
13:00 JAからの電話対応
14:00 部内打ち合わせ
15:00
16:00 退勤
(育児短時間勤務のため)
17:00
18:00

県域営農支援センター

2018年
入会農業政策推進室 **吉田 健人** (農学部卒)担当業務 | **水田農業政策の推進
担い手の育成支援**

米政策のエキスパート

水田農業政策に関することとして、米の需給調整や担い手の育成支援に関することを担当しています。水田農業政策は、制度が複雑で全体を理解することは難しいですが、勉強のしがいがある分野です。中央会は、全中や国・県などの行政機関に対し、政策提案を行っていますが、自分の意見が採用されることもありやりがいを感じています。

自分が成長できる職場

若手のうちから様々なことに挑戦でき、自分を成長させてくれる職場だと思います。研修制度も充実しておりスキルアップを図ることもできます。また、JAのみではなく、行政や政治関係など様々な立場の方と仕事をする機会が多く、直接お話を伺えることも他の職場にはない魅力だと思います。

Daily Schedule

8:00 出勤
9:00 需要に応じた米生産に係る
全国会議
10:00
11:00
12:00 昼食
13:00 会議報告書作成
14:00
15:00 会議資料
広報資料の作成
16:00
17:00
18:00 退勤

TOPICS

職員共済会

職員同士の親睦と、職員の福利厚生の充実、慶弔時や災害時に職員を助けることを目的としてつくられた組織です。職員は、毎月基本給の一部を共済会費として支払うことで、次の助成を受けることができます。

職員旅行(共済会旅行)

全職員や部署ごとに旅行に行くのではなく、行きたい場所に人数を集めて旅行に行くというのが本会の共済会旅行の特徴です。国内だとディズニーリゾートや沖縄、海外だとオーストラリアやグアムなど、行先も様々です。



職員旅行(2019年/グアム)



職員旅行(2019年/オーストラリア)

レクリエーション

就業時間後にレクリエーションと懇親会が開催され、職員同士の親睦を図ります。近年では、スポーツかるた大会やウォーキング大会などが行われました。



レクリエーション(ウォーキング大会)

県域営農支援センター

2013年
入会農業経営支援室 **櫻井 美穂** (農学部卒)担当業務 | **食品表示研修会の開催
外国人技能実習事業に関する
こと**

農業の現場に近い仕事

農業経営支援室では、生産・販売力の強化、食の安全・安心対策、農家の記帳代行など、営農に関する幅広い業務を行っており、中央会で農業の現場に最も近い部署です。研修会や会議を企画し、JA職員の資質向上や情報共有を図っています。

農業を陰ながら支える仕事

農業現場を陰ながら支える仕事をしていると感じているので、JAグループ茨城の農産物がメディアで取り上げられたり、スーパーで販売されたりするのを目にすると、誇らしく思います。中央会の業務内容は多岐に渡っているので、職員の出身学部も様々です。学生時代に経験してきたことの何かが必ず役に立つと思います。

Daily Schedule

8:00 出勤
9:00 メールチェック
10:00 研修会に向けた資料作成
11:00
12:00 昼食
13:00 JAからの電話対応
14:00 会議の準備
15:00
16:00 業務内容の確認・整理
17:00
18:00 退勤

入会1年目からみた中央会

Q 中央会に入会したきっかけ、
中央会を選んだ決め手は？



もともとは公務員を考えていましたが、企業説明会やインターンシップに参加して、1年目でも大きな仕事を任せてもらえる「やりがい」を強く感じたことが1番の決め手となりました。



私は県内の大学に通っていたこともあり、地域に密着した仕事に就きたいと考えていました。説明会でJAの取り組みが幅広いことを知り、その活動を多くの人に伝えたいと思い入会しました。



大学は茨城を離れていたもので、地元である茨城県に貢献できる仕事を軸に就職活動をしました。茨城県の農業産出額が全国3位であり、中央会は県全体の農業に携わることができるのではないかと思います。

入会して1年目の3人に
感じたことをいろいろ聞
きました！



Q 社会人と学生の違いは何だと思いますか？



時間の使い方です。社会人になってから1日があるという間に感じます。学生時代は思いつきで行動することが多かったのですが、今では計画を立てるようになりました。



一番の変化は生活リズムです。社会人になって規則正しい生活リズムになり、すっかり早寝早起きが習慣になりました。夜更かしができるのは学生までです！



学生は授業料を払って講義を受ける立場ですが、社会人は給与をもらって働く立場になります。責任の大きさが一番の違いだと思います。

総務企画部
川崎 晶穂
(文学部卒)



農政広報部
新井 貴博
(法学部卒)



県営農業支援センター
農業経営支援室
松本 直樹
(経済学部卒)



Q どんな学生生活を過ごしていましたか？



ゼミの発表やテストがある時は図書室で友人と勉強していました。また、バドミントンサークルに所属して、週2〜3回活動を行っていました。



大学では友人たちと勉強よりも雑談をしている時間の方が長かったと思います。空きコマを使って大学近くの海や動物園に遊びに行くこともありました。



サークルやアルバイトなど様々なことを経験しました。アルバイトでの経験は社会人生活の役に立っていると思います。

Q 社会人になった今だから思う、
学生時代にやっておいた方がいいことは？



サークル活動や旅行などを楽しむことです。社会人になってから後悔しないよう、何事にも全力で取り組んでください！



趣味に旅行に様々なことに挑戦して、いろいろな経験を積むことです。勉強も含め、大学生活を楽しんでください！



学習面は、簿記などの会計の知識は少しでもあるといいと思います。ただ、大学生にしかできない時間の使い方など、とにかく楽しむことが大事だと思います。

就活生へひとこと



総務企画部 部長
海野 雅文
1989年
入会

どこで働きたいか
でなく何をしたいか

社会人として踏み出す新たな希望を抱く一方で、様々な悩みや不安を抱きながら活動されていると思います。最初から順調なスタートなんてありません。置かれた環境の中でどれだけ自分を出せるか、が大切です。すなわち、何をしたいか、これが大切です。

就活生へアドバイス！

就職活動中は、説明会でお会いした方のお名前と顔を覚えること、質問できる機会には積極的に手を挙げ、印象に残るようにすることを心がけていました。企業の方に覚えていただくきっかけにもなり、この心がけは社会人になってからも活かしています。

中央会の魅力



1989年
入会
県営農業支援センター
農業経営支援室 室長
坂本 健一

自分次第で輝きながら
仕事ができる職場

チーム力から生まれる総合性、公認会計士や社会保険労務士、税理士、中小企業診断士等のビッグライセンスの取得促進による専門力から生まれる専門性、役職員の人間力から生まれる多様性。この三位一体から生まれるシナジーが中央会の最大の強みであり魅力です。あなた次第で輝きながら仕事ができる職場です。

思い出に残る就職活動に
してください

私が入会した10年前には、入会直前の3月に東日本大震災があり、大変だったことを覚えています。コロナ禍での就職活動は大変だと思いますが、きっと後々思い出に残る就職活動になるので頑張ってください！



2011年
入会
改革支援部
経営IT戦略室
穂葉 真嗣
(人文学部卒)



2019年
入会
改革支援部
JA改革支援室
田崎 海晴
(文学部卒)

やる気のある職員への
サポートが魅力



2010年
入会
改革支援部
内部管理態勢支援室
久保田 英之
(理学部卒)

私は入会6年目の時に、より専門的な知識を得るために公認会計士の資格を取得したいと考えました。会には研修期間として休職を認めてもらい、会計大学院の入学金や授業料の一部、受験費用等を負担していただき、公認会計士の資格を取得しました。やる気のある職員へのサポートはとてもありがたいです。

教育制度

新採職員から管理職職員まで、キャリアに合わせた職員教育を行っています。取得すべき資格については、事前の研修への参加など資格取得に向けた学習環境を整備しています。

この他にも、**公認会計士**や**社会保険労務士**、**税理士**、**中小企業診断士**資格取得に向けたサポートも手厚く実施しています！



入会年数	研修	資格
1年目 	■ JA現地研修 県内JAにて2週間程度様々な業務の研修を行います。 ■ JA中央会新採職員研修 全国の中央会の同期と会える貴重な研修です。 ■ 初級職員研修 仕事の進め方やコミュニケーションなどを学びます。 ■ 中堅職員研修 中堅職員として求められるスキルについて学びます。 ■ コア人材研修 将来のJAのリーダーとなる人材を育成する研修です。 ■ 監督者研修 管理者としての役割を学ぶ研修です。 ■ 管理者研修 部下を指導する立場になった人が参加する研修です	■ JA職員基本認証「初級」(全国統一) JAグループや農業情勢についての試験です。 入会して最初に取得する資格です。 ■ 農協内部監査士検定試験 組織の経営健全性をチェックする資格を得るための試験です。 ■ JA職員基本認証「中級」(全国統一) 中堅職員に求められるスキルに関する試験です。 ■ 農協監査士資格試験 JAグループ組織の経営健全性をチェックする資格を得るための試験です。 ■ JA職員基本認証「上級」(全国統一) 管理者に求められる知識に関する試験です。 ■ JA職員基本認証「特級」(本県独自) 管理者に求められる知識に関する試験です。
15年目 		
全職員対象 	■ 全職員会議 中央会で働く職員が働きやすい環境を作るために毎年開催しています。 ■ コミュニケーション研修 コミュニケーションの基礎を学ぶ学ぶ研修です。	

協同組合活動

中央会は、相互扶助の精神に基づいた組織です。
相互扶助というのは、助けあいの考え方で、この考え方に基づいて、様々な活動を行っています。
本会だけでなく、他の協同組合と連携して活動することもあります。その一例を紹介します。

111協同活動（1事業所、1役職員、1協同活動）

JAグループとして、地域を豊かで元気にする運動に取り組んでいます。本会では111協同活動として、地域に貢献する活動をしています。ユニセフ協会と連携し外貨コインを仕分け各国へ募金する取り組みを行ったり、地域の公園や施設の除草作業等の清掃活動を行っています。

ボランティア活動

地域に貢献する取り組みとして、ボランティア活動に取り組んでいます。台風など自然災害が発生した際には、県内のJAや連合会、他の協同組合等にも呼びかけ、被害があった地域の復興のために活動します。

福利厚生

働きやすい職場環境づくりのため、中央会では健康やリフレッシュに関する制度、スキルアップに関する制度、職員同士の親睦を図るための制度など、様々な制度の活用に取り組んでいます。

カフェテリアプラン

働きやすい職場づくりを目的として、健康管理対策やワークライフバランスの実現、リフレッシュに関する費用を助成する制度です。病院の診療代や薬代、旅行の費用やテーマパーク等の入園・入館・入場にかかる費用、美容院代など、幅広く助成の対象となっています。職員は、年度はじめに一定額分のポイントが付与され、助成対象範囲内で自由に利用することができます。

自己啓発制度

職員のスキルアップを目的に、資格の取得や通信教育にかかる費用を一定額助成する制度です。昇級に必要な通信教育の受講をはじめ、簿記の知識の習得や、公認会計士や社会保険労務士などの自主的に取得する資格についても研修の費用が助成されます。毎年、多くの職員がこの制度を利用して、自身の能力向上に努めています。

女性職員会議

1年に1度、中央会で働く全ての女性職員を対象とした女性職員会議を開催しています。会議では、外部講師を呼んでの研修や職場美化に関する話し合いを行い、働きやすい職場環境を作っています。会議終了後は懇親会も開催され、職員同士の交流を図ります。近年では、ヨガや日々のデスクワークによる運動不足を解消するストレッチの研修を行いました。

トレーナー制度

新規採用職員の仕事に関する日頃の悩みを少しでも軽減し、職場や業務への早期適応を図るため、OJTの一環としてトレーナー制度を設けています。入会2年目から3年目程度の若手職員がトレーナーとなり、新規採用職員と1対1で日常の相談対応と定期的な面談を実施しています。また、一緒に事務所の外へランチを食べに行くこともあります。

採用データ（2020年4月1日現在）

給与	大学卒 月給200,000円(2022年4月1日より)
勤務時間	9:00～17:15(2021年4月1日より) (毎週水曜・金曜日はノー残業デー)
休日	完全週休2日制、祝日、年末年始
職員数	男性 42名 女性 10名
採用人数	2020年 3名 2019年 2名 2018年 5名 2017年 2名
勤務地	本所(水戸市梅香) 茨城県JA総合情報センター(水戸市小吹町) JAグループ茨城教育センター(水戸市下国井町)

いろいろな学部、学科を卒業した職員が活躍しています！



福利厚生	労災保険・健康保険・雇用保険・厚生年金 定期健康診断・インフルエンザ予防接種 通勤手当・住宅手当・子ども手当・資格手当等
休暇	年次有給休暇 採用年:13日 2年目以降:20日 夏期休暇 5日間(7月～9月) 特別休暇 忌引・結婚・出産等 リフレッシュ休暇 5年目以降 5・10・15年勤務時は連続3日間 20・25年勤務時は連続5日間 育児・介護休暇 等